3-867-186-**06** (1)

CD ラジオ カセットコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

CFD-W57

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4〜7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

1. **電源を切る**
2. **電源プラグをコンセントから抜く**
3. **お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

強制

目次

録音についてのご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- CDラジオカセットコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

⚠警告

火災

感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

電源コードを傷つけない

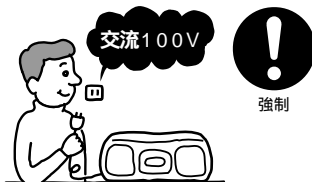
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

海外では使用しない

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら、アンテナや電源プラグに触れない

感電の原因となります。ロッドアンテナ付き製品を屋外で使用中に、遠くで雷が鳴りだしたときは、落雷を避けるため、すぐにアンテナをたたんで使用を中止し、その後は触れないでください。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

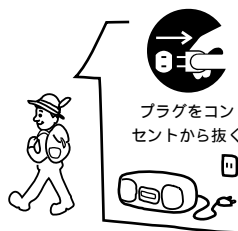
⚠注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

移動させるとき、長時間使わないときは、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
またロッドアンテナ付きの製品を持ち運ぶ際は、目のけがなどをしないように、アンテナを折りたたんでください。長期間の外出・旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

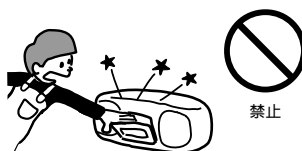
安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

幼児の手の届かない場所に置く

CDトレイなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

円形ディスク以外は使用しない

円形以外の特殊な形状（星型、ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ•破裂•発熱•発火•誤飲による大けがや失明を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠警告

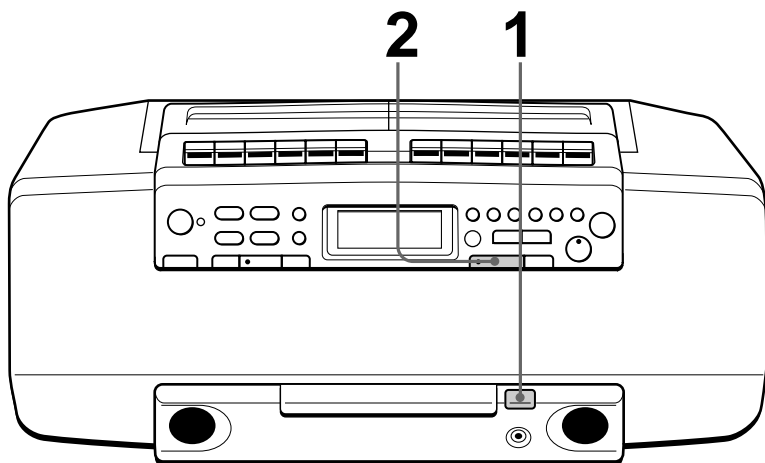
- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋とーを正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。
- 液漏れした電池は使わない。

乾電池が液漏れしたとき

- 乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。
- 液が本体内部に残ることがあるため、ソニーサービス窓口にご相談ください。
- 液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。
- そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が出てくることもあります。

⚠注意

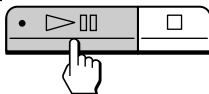
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときや交流電源で使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

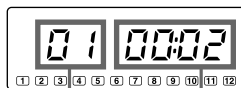
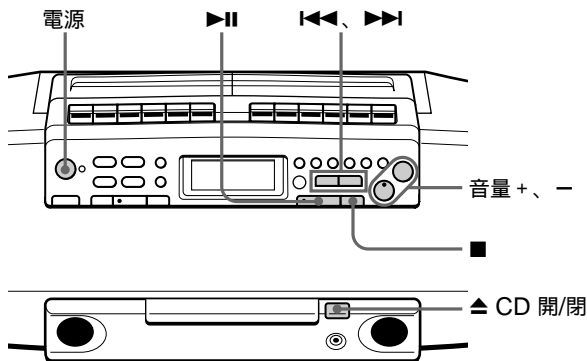
CDを聞く

準備➡電源コードを接続してください（29ページ参照）。

1

≜ CD 開/閉を押して、CDを入れる。

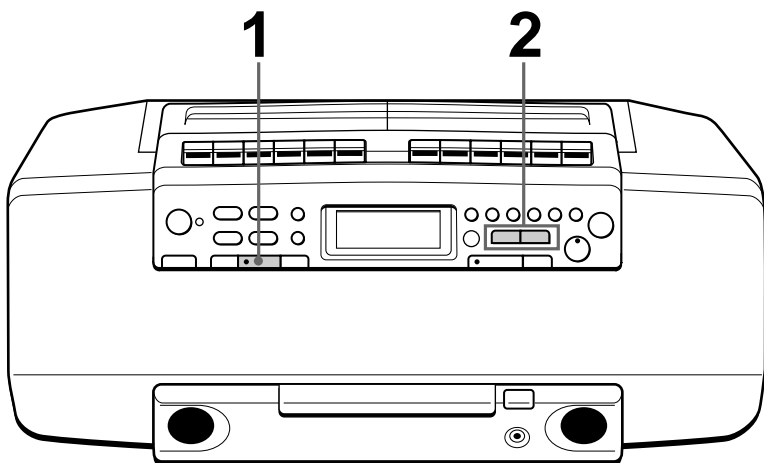
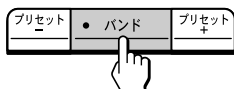
ボタンを押すと自動的に電源が入り、CDトレイが出てきます。

2

►IIボタンを押す。（リモコンでは►ボタンを押す。）

CDトレイが閉まり、再生が始まります。

その他の操作

ちょっと一言

一度CDを入れておけば、次にCDを聞くときは▶IIボタンを押すだけで電源が入り、演奏を始めることができます。

こんなときは	押すボタン
音量を調節する	音量+、ー
再生を止める	■
再生中に一時停止する	▶II（リモコンではII） もう一度押すと演奏が始まる。
曲の頭に戻す	I◀◀ 短くポンと押す。
次の曲へ進む	▶▶I 短くポンと押す。
CDを取り出す	⏏ CD 開/閉
電源を入/切する	電源

ラジオを聞く

準備➡電源コードを接続してください（29ページ参照）。

バンドボタンを押して、FMかAMを選ぶ。

ボタンを押すと自動的に電源が入り、「FM」か「AM」が出ます。切り換えるときは、もう一度押します。

本体表示窓

AM 594

2

選局/時刻合せ＋または−ボタン（リモコンでは選局＋または選局−ボタン）を押したままにし、数字が動き始めたら指を離す。

放送局を自動的に受信して止まります。受信できなかったときは、選局/時刻合せ+または−ボタンを繰り返し押して、聞きたい局の周波数に合わせます。

FM**ステレオ放送のとき出る**

ST

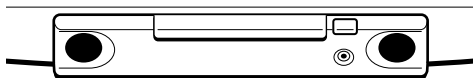
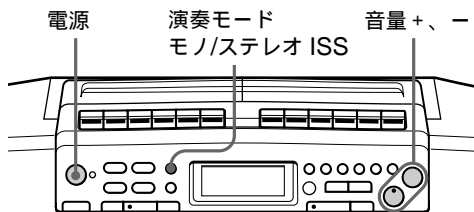
FM 81.3

テレビ放送の受信についてのご注意

地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

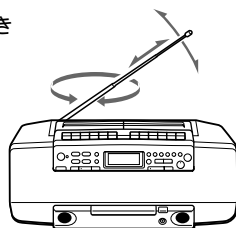
ちょっと一言

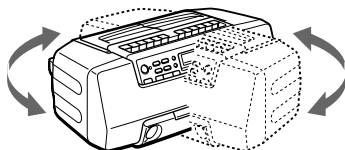
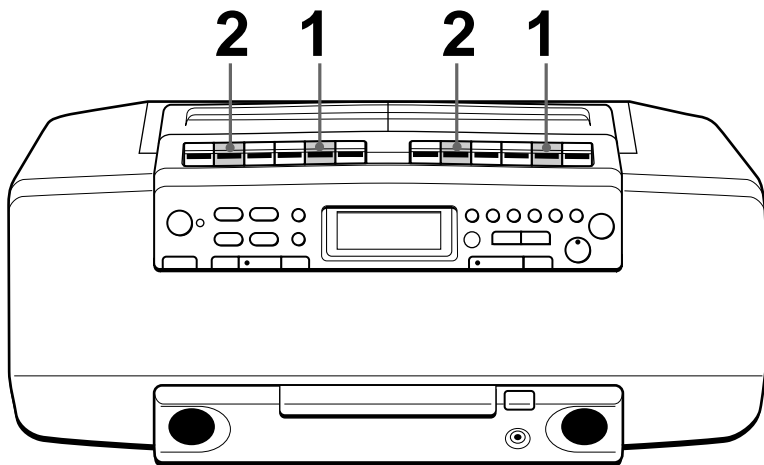
- FMステレオ放送の雑音が多いときは、演奏モード•モノ/ステレオ ISSボタンを押して、表示窓に「Mono」を出します。音はモノラルになります。
- 一度放送局を受信すれば、次にラジオを聞くときはバンドボタンを押すだけで電源が入り、ラジオを聞くことができます。

その他の操作

こんなときは	押すボタン
音量を調節する	音量+、ー
電源を入/切する	電源

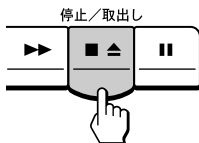
受信状態をよくする

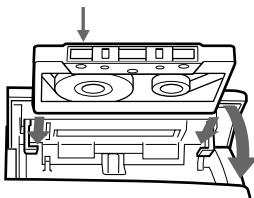
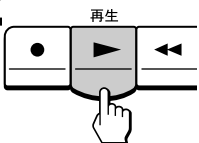
FM（TV1〜3ch）**放送のとき**

ロッドアンテナを伸ばし、向きを変える。

AM**放送のとき**

本体の向きを変える。

テープを聞く

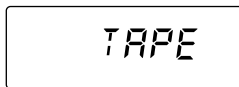
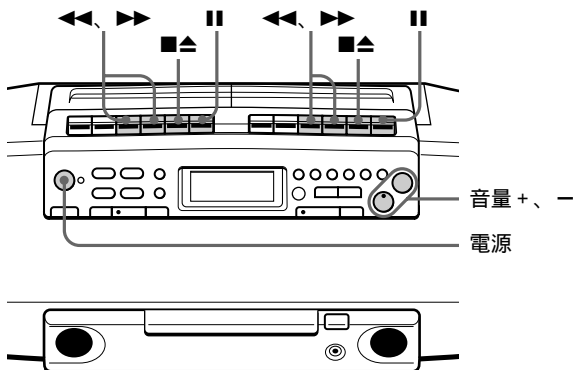
準備➡電源コードを接続してください（29ページ参照）。

1

■≜ボタンを押し、カセットを入れる。

TYPE Ⅰ（ノーマル）テープをお使いください。

2

►ボタンを押す。

自動的に電源が入り、再生が始まります。

本体表示窓

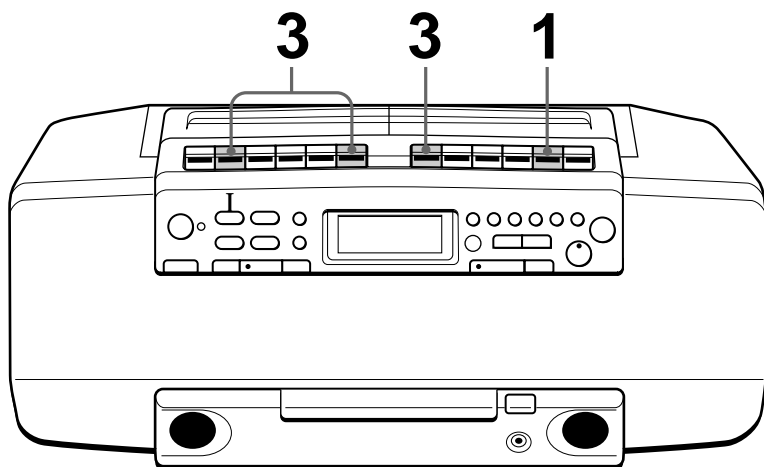
TAPE

その他の操作

ご注意

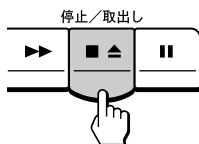
再生中にもう一方のデッキのボタンを押すと、再生速度が変わってしまうことがあります。

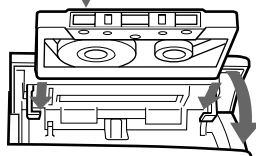
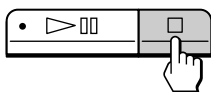
ちょっと一言

一度テープを入れておけば、次にテープを聞くときは ▶ ボタンを押すだけで電源が入り、聞くことができます。

こんなときは	押すボタン
音量を調節する	音量+、ー
再生を止める	■≜
早送りや巻戻しをする	▶▶または◀◀
再生中に一時停止する	❚❚ もう一度押すと演奏が始まる。
カセットを取り出す	■≜
電源を入/切する	電源

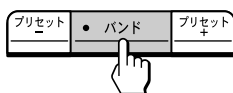
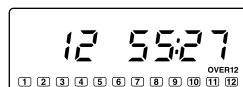
録音する

準備➡電源コードを接続してください（29ページ参照）。

1

デッキBの■≜ボタンを押して、録音用カセットを入れる。

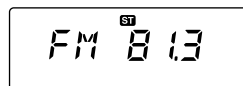
TYPE I（ノーマル）テープをお使いください。

2

録音するものを選ぶ。

CDを録音するとき

CDを入れる（8ページ参照）。CDの■ボタンを押して、CDを録音できる状態にする。

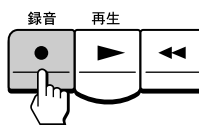
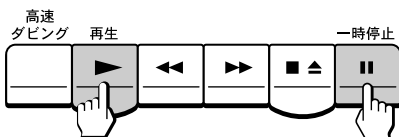
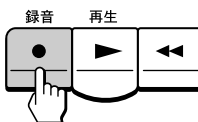
本体表示窓

ラジオを録音するとき

録音する局を受信する（10ページ参照）。

FM 81.3

テープからテープへ録音するとき

デッキAに再生するカセットを入れる。

3

デッキB

デッキA

デッキB

録音を始める。

CDやラジオを録音するとき

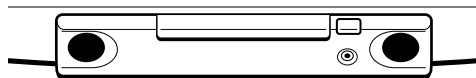
デッキBの●ボタンを押す。►ボタンが同時に押され、録音が始まります。

テープを録音するとき

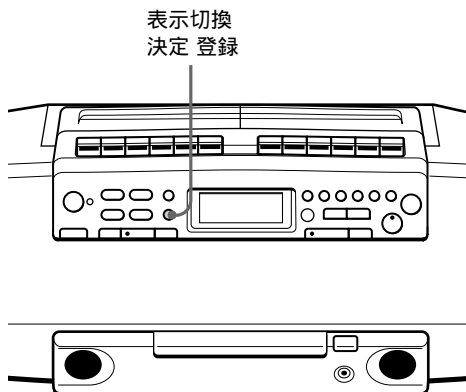
デッキAの❚❚ボタンと►ボタンを押す。（高速ダビングのときは❚❚ボタンと高速ダビングボタンを押す。）続けてデッキBの●ボタンを押す。►ボタンが同時に押され、録音が始まります。

ちょっと一言

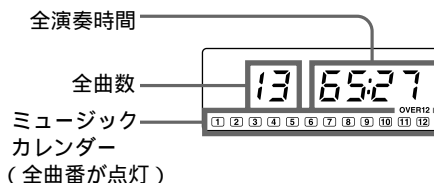
- 録音中、音量や音質（31ページ参照）を変えても録音される音は変りません。
- 録音するときは、乾電池ではなく付属の電源コードを使用することをおすすめします。
- AM放送を録音するとき、手順3の●ボタンを押したあとピーという雑音が出ていたら、演奏モード•モノ/ステレオ ISSボタンを押して雑音が消える状態を選んでください。
- 録音した音を消去するには
  1 デッキBに音を消したいカセットを入れる。
  2 デッキBの●ボタンを押す。

その他の操作

こんなときは	押すボタン
録音を止める	デッキBの■⏏
録音を一時停止する	デッキBの❚❚ もう一度押すと録音が始まる。
電源を入/切する	電源

表示窓の見かた

表示窓で、CDの全曲数や全演奏時間、残りの曲数、残り時間などを調べることができます。

全曲数と全演奏時間を調べるには

停止中、表示窓を見る。

12曲以上入っているCDでは、「OVER12」と表示されます。

残り時間を調べるには

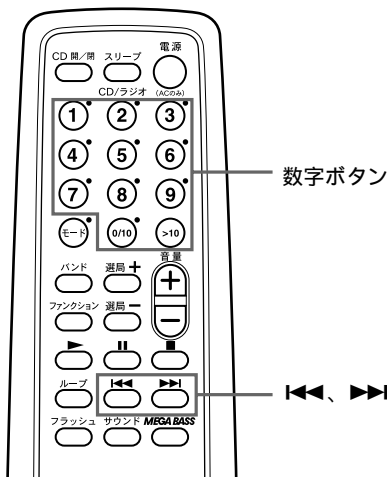
演奏中、表示切換•決定 登録ボタンを押す。

演奏し終わった曲番は、ミュージックカレンダーから消えていきます。

表示	押す回数
演奏中の曲番と曲の残り時間*	1回
CD全体の残りの曲数と残り時間	2回
演奏中の曲番と演奏経過時間（通常表示）	3回

* 21曲以降の曲では、演奏中の曲の残り時間は「--:--」と表示されます。

聞きたい曲を選ぶ
（ダイレクト選曲/サーチ）

数字ボタンですぐに聞きたい曲の演奏が始められます。⏮、⏭ボタンで曲の中の聞きたい部分を探すこともできます。

ご注意

ダイレクト選曲の場合は、表示窓に「SHUF」「PGM」が出ていたら、■ボタンを押して消します。

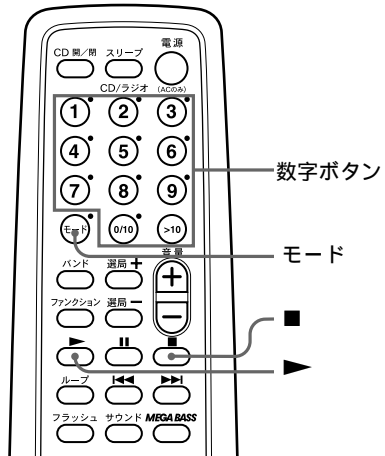
ちょっと一言

11曲目以降の曲を選ぶには、＞10ボタンを押したあと10の位の数、1の位の数という順に数字ボタンを押します。

例：23曲目を選ぶときは、＞10→2→3の順に押します。

選びかた/探しかた	操作のしかた
曲番で直接選ぶ（ダイレクト選曲）	聞きたい曲番の数字ボタンを押す。
聞きながら探す（サーチ）	演奏中に⏭または⏮ボタンを押したままにする。
表示窓の演奏時間を見ながら探す（高速サーチ）	一時停止中に⏭または⏮ボタンを押したままにする。

繰り返し聞く
（リピート演奏）

CDの全曲または1曲を繰り返し聞くことができます。シャッフル演奏やプログラム演奏を繰り返すこともできます。

本体では

演奏モード•モノ/ステレオISSボタンを押して、希望のを表示を出す。

1 ■ボタンを押す。

「Cd」が表示されます。

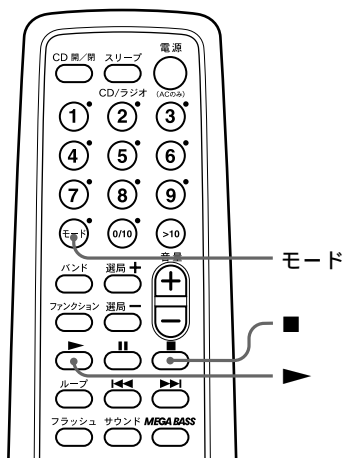
2 モードボタンを押して、希望の表示を出す。

リピートの種類	選ぶ表示
1曲だけ繰り返す	1 モードボタンを押して「REP 1」を表示させる。 2 数字ボタンを押して曲を選ぶ。（本体では⏮または⏭ボタンで曲を選んでから►IIボタンを押す。）
全曲を繰り返す	1 モードボタンを押して「REP ALL」を表示させる。 2 ►ボタン(本体では►IIボタン）を押す。
順不同に繰り返す	1 モードボタンを押して「SHUF REP」を表示させる。 2 ►ボタン(本体では►IIボタン）を押す。
プログラムした曲順で繰り返す	1 モードボタンを押して「PGM REP」を表示させ、プログラムする。（20ページの手順3参照） 2 ►ボタン(本体では►IIボタン）を押す。

リピート演奏をやめるには

モードボタンを押して「REP」表示を消します。

順不同に聞く
（シャッフル演奏）

CDに入っている全曲を順不同に聞くことができます。

本体では

1 ■ボタンを押す。
2 演奏モード•モノ/ステレオ ISSボタンを繰り返し押して「SHUF」を表示させる。
3 ►IIボタンを押す。

1 ■ボタンを押す。

「Cd」が表示されます。

2 モードボタンを押して「SHUF」を表示させる。

3 ►ボタンを押す。

演奏が始まります。

シャッフル演奏をやめるには

モードボタンを押して「SHUF」を消します。

聞きたい曲を好きな順に聞く
（プログラム演奏）

聞きたい曲を好きな順に20曲までプログラムすることができます。

本体では

1 ■ボタンを押す。
2 演奏モード•モノ/ステレオ ISSボタンボタンを繰り返し押して「PGM」を表示させる。
3 ⏮または⏭ボタンと表示切換•決定 登録ボタンを使って、聞きたい順にプログラムしていく。
4 ►❚❚ボタンを押す。

ちょっと一言

- プログラム演奏が終わっても、作ったプログラムはCDトレイを開けるまで残っています。
- プログラム演奏を録音するには、プログラムを作ってから、デッキBに録音用カセットを入れ、●ボタンを押して録音を始めます。

1 ■ボタンを押す。

「Cd」が表示されます。

2 モードボタンを押して「PGM」を表示させる。

3 聞きたい順に、曲番の数字ボタンを押していく。

選んだ曲番がミュージックカレンダーに表示されます。

4 ►ボタンを押す。

プログラムした順に演奏が始まります。

プログラム演奏をやめるには

モードボタンを押して「PGM」を消します。

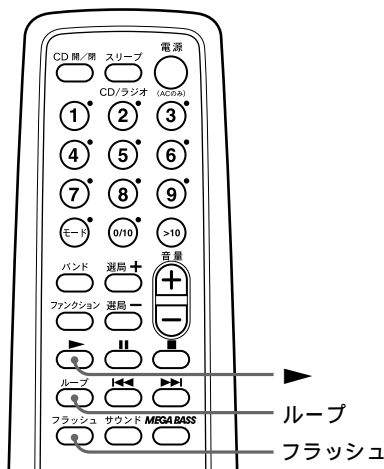
曲順を確認するには

演奏前に、本体の表示切換•決定 登録ボタンを押します。押すたびに、プログラムした順で曲番が表示されます。

プログラムを変更するには

演奏前には1回、演奏中には2回、CDの■ボタンを押して現在のプログラムを消してから、プログラムし直します。

サウンド効果を楽しむ
（ループ/フラッシュ演奏）

CD演奏中、そのごく一部分を繰り返し聞いたり（ループ）、演奏を断続的にして聞いたり（フラッシュ）することができます。

C
D

1 CDの演奏を始める。

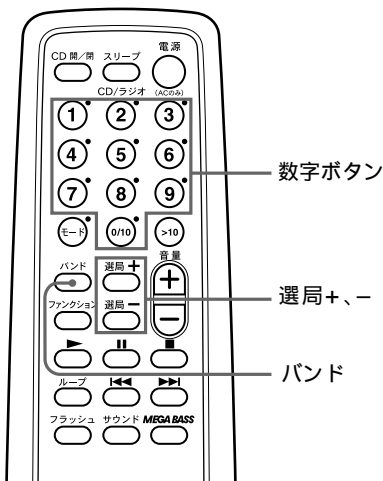
2 ループまたはフラッシュ演奏を始めたいところで、ループまたはフラッシュボタンを押し、そのまま押し続ける。

こんなときは	押し続けるボタン
CDの一部分を繰り返す	ループ
CDを断続的に演奏する	フラッシュ

ループ演奏やフラッシュ演奏をやめるには

ループボタンまたはフラッシュボタンから指を離します。通常の演奏に戻ります。

放送局を記憶させる

特定の放送局を記憶させることができます。次からは記憶させた番号（プリセット番号）でその局を選ぶことができます。
FM、AM各10局ずつ、合計20局まで記憶できます。

本体では

1 バンドボタンを押して、FMかAMを選ぶ。
2 記憶させたい放送局を受信する。
3 表示切換•決定 登録ボタンを、表示窓の周波数表示が点滅するまで約2秒間押したままにする。
4 プリセット＋または–ボタンを押して、ミュージックカレンダーに記憶させたいプリセット番号（1〜10）を表示させる。
5 表示切換•決定 登録ボタンを押す。

1 バンドボタンを押して、FMかAMを選ぶ。

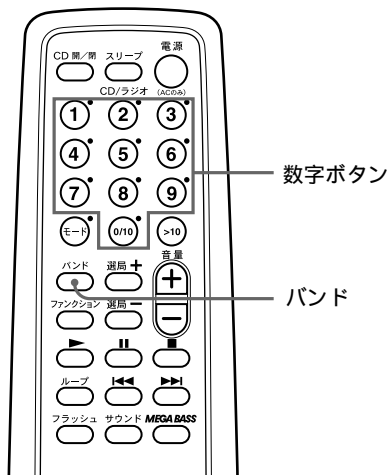
2 記憶させたい放送局を受信する。

3 記憶させたいプリセット番号（1〜10）の数字ボタンを約2秒間押したままにする。

表示窓の周波数表示が点滅し、放送局が記憶されます。

新しい放送局を記憶すると、同じプリセット番号に記憶されていた前の局は消えます。

記憶させた放送局を聞く

リモコンの数字ボタンまたは本体のプリセット+、–ボタンで、簡単に放送局を選ぶことができます。

ちょっと一言

1 バンドボタンを押して、FMかAMを選ぶ。

2 プリセット+または–ボタンを押して聞きたい放送局を受信する。

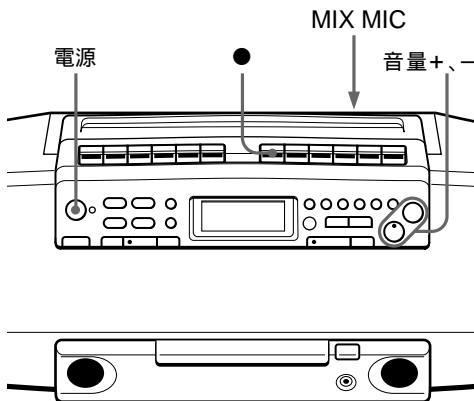
テレビ放送の受信についてのご注意

地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

1 バンドボタンを押して、FMかAMを選ぶ。

2 数字ボタンを押して聞きたい局のプリセット番号を選ぶ。

マイクで録音/拡声する

会話やお稽古ごとを録音したり、本機のスピーカーを拡声器として使うことができます。

ちょっと一言

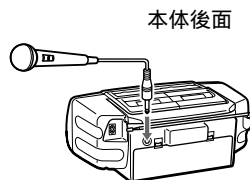
マイクで録音するとき、手順4の前にCDなどを演奏していると、その音楽に重ねて録音できます。

ご注意

- エコー内蔵のマイクはピーッという音（ハウリング）を起こしやすいので、マイク音量を小さくしてお使いください。
- マイクを使っているときにハウリングが出たら、マイクの頭をスピーカーと違う方向へ向けてください。

マイクで録音する

1 MIX MICジャックにマイク(別売り)をつなぐ。

マイクにスイッチがあればONにします。

2 電源を入れる。

3 デッキBに録音用カセットを入れる。

4 ●ボタンを押す。

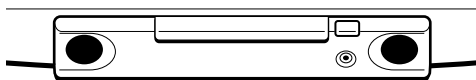
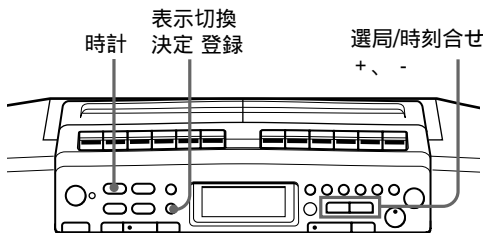
拡声器として使う

1 「マイクで録音する」の手順1〜2を行なう。

2 マイクに向かって話す。

音量ボタンでスピーカーから出る音量を調節します。

時計を合わせる

本機の時計は、時刻を合わせるまで「--:--」が表示されています。

ちょっと一言

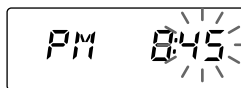
- 本機の時計は12時間表示です。
  真夜中 :「AM12:00」
  正午 :「PM12:00」
- 秒まで正確に合わせるには、時報サービス（117番）をご利用になると便利です。

1 時計ボタンを約2秒間押したままにする。

「時」表示が点滅します。

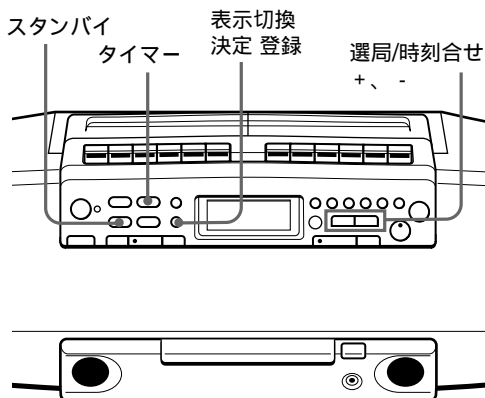
2 時刻を合わせる。

① 選局/時刻合せ＋または－ボタンを押して「時」を合わせ、表示切換• 決定登録ボタンを押す。

② 選局/時刻合せ＋または－ボタンを押して「分」を合わせる。

3 表示切換•決定 登録ボタンを押す。

00秒から時計が動きます。

音楽で目覚める

タイマー機能を使って好きな音楽やラジオ番組を目覚まし代わりにすることができます。本機の時計合わせを行なってから操作してください（25ページ参照）。

操作の前に

表示窓に◷が出ていたら、スタンバイボタンを押して消します。

1 聞きたい音源の準備をする。

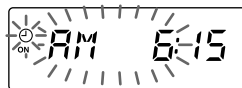
音源	準備
CD	CDを入れる。
RADIO（ラジオ）	聞きたい局を受信する。

2 タイマーボタンを押す。

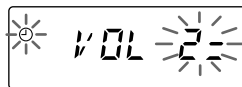
◷と聞きたい音源（「Cd」または「RAdIO」）が点滅します。

3 選局/時刻合せ＋または－ボタンを押して聞きたい音源を表示させ、表示切換•決定 登録ボタンを押す。

4 再生を始める時刻を設定する。

① 選局/時刻合せ＋または－ボタンを押して「時」を合わせ、表示切換•決定 登録ボタンを押す。

② 選局/時刻合せ＋または－ボタンを押して「分」を合わせ、表示切換•決定 登録ボタンを押す。

5 同じように再生を止める時刻を設定する。

6 選局/時刻合せ＋または－ボタンを押して希望の音量を表示させ、表示切換•決定 登録ボタンを押す。

7 スタンバイボタンを押す。

電源が切れ予約待機状態になり、◴が表示されます。予約した時刻になると自動的に再生が始まります。終了時刻になると電源が切れ予約待機状態になります。

ちょっと一言

- 予約再生中は、表示窓のバックライト照明はつきません。
- 予約待機状態を取り消すには、スタンバイボタンを押して◴を消します。
- 予約内容は別の予約をしない限り保持されます。

予約した内容を確かめたり、変更するには

タイマーボタンを押したあと、表示切換•決定 登録ボタンを押します。押すたびに設定した順に予約内容が表示されます。変更したい場合は、その内容を表示させて、そこから設定をやり直します。予約内容の確認が終わったら、タイマーボタンを押します。

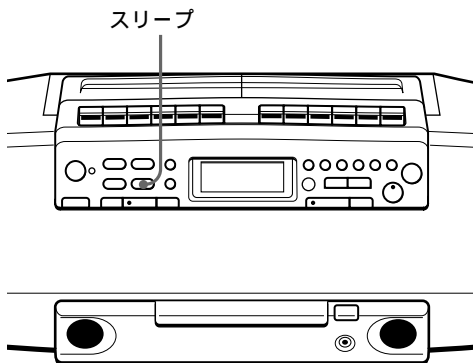
予約したあとでラジオなどを聞くには

電源を入れれば、通常の操作ができます。
予約開始時刻の前に電源を切れば、予約した時刻になると自動的に再生が始まります。
ラジオの場合26ページの手順1で受信した局とは別の局を聞くと、予約した時刻には、その別の局が始まります。電源を切る前に、聞きたい放送局を選んでおいてください。

予約再生中、途中で止めるには

電源を切ります。

音楽を聞きながら眠る

指定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。時間は10分、20分、30分、60分、90分、120分の中から選べます。音楽を聞きながら安心してお休みになれます。

ちょっと一言

- スリープ機能が働いているときは、表示窓のバックライト照明はつきません。
- 目覚ましとスリープ機能を組み合わせて使うことができます。このときは、先に目覚ましを予約してから(26ページ参照)、電源を入れ、スリープ機能を働かせます。
- 目覚ましとスリープ機能で違う音楽を聞くことができます。ただし、ラジオでは別の局を設定することはできません。
- 目覚ましとスリープ機能で違う音量を設定できます。例えば小さな音量で眠り、大きな音量で目覚めることができます。

ご注意

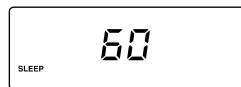
テープを聞きながらおやすみになるときは

片面のテープの長さが設定した時間より長いときは、片面の演奏が終わるまで電源は切れません。

1　聞きたい音楽の演奏を始める。

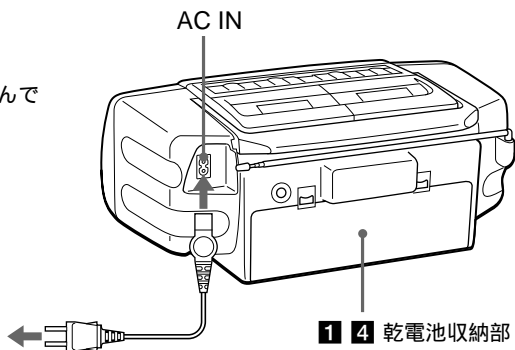
2　スリープボタンを押して、「SLEEP」を表示させる。

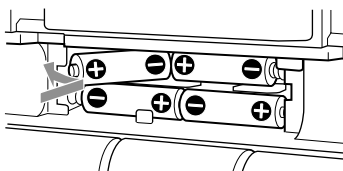
3　スリープボタンを押して、時間（分）を選ぶ。

ボタンを押すごとに「60」→「90」→「120」→表示なし→「10」→「20」→「30」と変わります。

スリープ機能を途中で止めるには

電源ボタンを押して、電源を切ります。

電源を準備する

家庭用電源または乾電池のいずれかを選んでお使いになれます。

1 メモリー用乾電池を入れる

停電時に内蔵タイマーや放送局の記憶内容を保つためには、メモリー用乾電池を入れてお使いください。

単3形乾電池4個（別売り）

2 電源コードを接続する

本機のAC INジャックへ差し込んだあと、壁のコンセントへ差し込んでください。

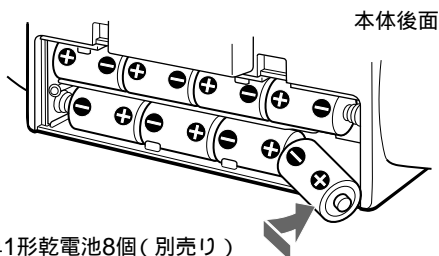
次のページへつづく

3 リモコンに乾電池を入れる

乾電池の交換について

乾電池が消耗してくると、リモコンで操作できる距離が短くなります。乾電池をすべて新しいものと交換してください。ふつうの使いかたで約6か月もちます。

4 乾電池で使う

乾電池でお使いになるときは、本体から電源コードを抜いてください。

乾電池の交換について

乾電池のみで使用中、乾電池が消耗してくると電源/電池ランプが暗くなったり、自動的に電源が切れたりします。乾電池を全て新しいものと交換してください。

ご注意

乾電池でお使いの場合は:

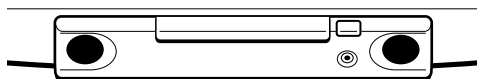
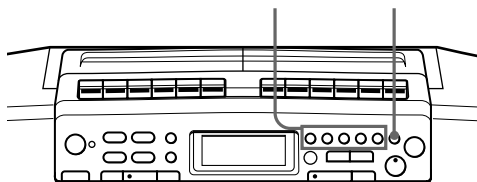
– リモコンで電源を入れることはできません。

– 表示窓のバックライト照明はつきません。

ちょっと一言

乾電池を出し入れするときは、CDを取り出しておいてください。CDぶたの中でCDがずれて、傷つくおそれがあります。

好みの音質で聞く

音楽や聞きかたに合わせた音質の設定を5種類の中から選べます。また重低音を強調することができます。

リモコンでは

サウンドボタンを繰り返し押して、好みの音質を選んでください。

サウンド効果を楽しむ

好みのサウンドモードボタンを押す。

表示窓に選んだサウンドモードが現れます。

OFF（オフ）	ダイナミックレンジの広いクラシックなどの音楽をお聞きになるときに適しています。
ROCK（ロック）	低音域と高音域を強調し、メリハリのある音質になります。ビートの効いたロック系の音楽に適しています。
POP（ポップ）	特に中、高音域を強調し、軽やかで明るい感じになります。ポップス系の音楽に適しています。
LIVE（ライブ）	低音を持ち上げ、埋もれがちなベースの音などをはっきりさせ、ずっしりとした音質になります。ジャズ系の音楽に適しています。
VOCAL（ボーカル）	人の声の中心である中音域を強調することにより、ボーカルをきわだたせます。ボーカル中心の音楽に適しています。

重低音を楽しむには

MEGA BASSボタンを押す。

「MEGA BASS」が表示されます。通常の音質に戻すには、もう一度MEGA BASSボタンを押します。

使用上のご注意

取り扱いについて

- CDぶたを開けたまま放置しないでください。内部にゴミやほこりが入り、故障の原因になることがあります。
- 本機のスピーカーには強力な磁石を使っています。次のようなものは本機のそばに置かないでください。磁気が変化して不具合がおきることがあります。
  – 時計
  – クレジットカードなどの磁気カード
  – カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ

  また、本機をテレビの近くには置かないでください。テレビの画像が乱れることがあります。
- カセットデッキを長い間使わなかったときは、数分間再生状態にして、ならし運転をしてください。よい状態でお使いいただけます。

CDの取り扱いかた

- 文字の書かれていない面（演奏面）に触れないように持ちます。
- 紙やシールなどを貼ったり、傷つけたりしないでください。

- 長時間演奏しないときは、ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねて置いたり、ななめに立てかけておくとそりの原因になります。
- 本機では円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状（星形、ハート型、カード型など）をしたディスクを使用すると、本機の故障の原因となることがあります。
- 著作権保護技術付音楽ディスクについて
  本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本機で再生できない場合があります。

DualDiscについて

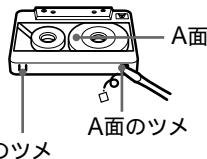
DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。尚、この音楽専用面はコンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本製品での再生は保証致しません。

CDのお手入れのしかた

- 指紋やほこりによるCDの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方向へ軽く拭きます。

- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、CDを傷めることがありますので、使わないでください。

大切な録音を守るー誤消去防止

ツメを折ると録音できなくなるので、誤って録音内容を消してしまうミスが防げます。ツメを折っても穴をセロハンテープなどでふさげば再び録音できます。

長時間テープをお使いのときは

90分を越えるテープは長時間使用には便利ですが、薄く伸びやすいテープです。こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しなどを繰り返すと、テープが機械に巻き込まれる場合がありますので、ご注意ください。

故障かな?と思ったら

修理に出す前に、もう一度次の点検をしてください。

	症状	チェック項目
共通	電源が入らない。	• 電源コードをAC INジャックとコンセントにしっかり差し込む。 • 乾電池が正しく入っているか確認する。 • 乾電池でお使いの場合は、リモコンで電源を入れることはできません。
	音が出ない。	• 表示窓に使用したい機能が表示されているか確認する。 • 電源コードをAC INジャックとコンセントにしっかり差し込む。 • 音量を調節する。 • スピーカーで聞くときは、ヘッドホンを🎧ジャックから抜く。
	雑音が入る。	• 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している→携帯電話などを本機から離して使用する。
ラジオ部	ステレオにならない。	• 演奏モード•モノ/ステレオ ISSボタンを押して、「STEREO」を表示させる。
	雑音が入る。	• FMステレオ放送を受信しているときは、受信状態によっては雑音が多くなります。 • テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。また、室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でFM放送を聞くと、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。 • AM放送受信時にリモコンで操作すると、雑音が入ることがあります。 • このラジオ(チューナー)のテレビ音声回路はFM放送の受信回路と兼用になっています。このため一部の地域ではテレビ2または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。その場合にはお近くのサービス窓口にご相談ください。 • 本体用乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。
	テレビ放送が聞こえない。	• 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

次のページへつづく

その他

故障かな?と思ったら（つづき）

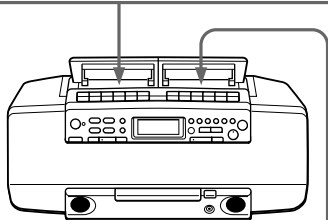
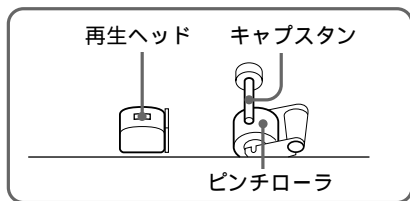
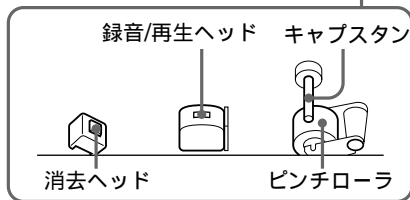
	症状	チェック項目
CD部	演奏が始まらない。	• CDトレイが閉まっていることを確認する。
	CDが入っているのに「no disc」が表示される。	• CDが裏返し→文字のある面を上にする。 • CDの汚れがひどい→クリーニングする。（32ページ） • レンズに露（水滴）がついている→CDを取り出してCDトレイを開けたまま1時間くらい置く。 • ■ボタンを押して「Cd」を表示させ、CDの操作ができるようにする。 • 本機ではCD-RWを再生できません。
	音がとぶ。 雑音が入る。	• CDによっては音がとぶことがあります。音量を下げてください。 • CDの汚れがひどい→クリーニングする。（32ページ） • CDに傷がある→CDを取り換える。 • 振動のない場所に置く。 • パソコンなどで記録したCD（CD-Rなど）は、音がとんだり雑音が入ることがあります。
	CDを聞くと、近くのテレビやラジオに雑音が入る。	• 本機をテレビやラジオからできるだけ離す。
テープ部	操作ボタンを押してもテープが動かない。	• カセットぶたをきちんと閉める。
	前の録音が完全に消えない。	• 消去ヘッドをクリーニングする。（36ページ） • 本体用乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。 • TYPE II（ハイポジション）、TYPE IV（メタル）テープを使っている→録音できるテープはTYPE I（ノーマル）のみです。
	録音ができない。	• カセットを正しく入れる。 • デッキに入れたカセットのツメが折れていたら、穴をセロハンテープなどでふさぐ。
	雑音が多い。音質が良くない。	• ヘッド、ピンチローラー、キャプスタンをクリーニングする。（36ページ） • ヘッドイレーサー・クリーナーを使ってヘッドを消磁する。（36ページ）
	音が歪む。	• TYPE II（ハイポジション）またはTYPE IV（メタル）テープはお使いになれません。TYPE I（ノーマル）テープをお使いください。

	症状	チェック項目
タイマー（時計）部	タイマーが働かない。	• 時計を正しい時刻に合わせる。 • 本体用乾電池が消耗していたら、新しいものと交換する。 • テープが最後まで巻きとられていないことを確かめる。 • 電源コードで使用中、停電があった。 • ◷表示が出ていることを確認する。
リモコン	リモコンで操作ができない。	• リモコンの電池が消耗していたら、新しいものと交換する。 • リモコンを本体へ向けて操作する。 • 本体とリモコンの間に障害物があったら、取り除く。 • 本体リモコン受光部に強い光（直射日光や高周波点灯の蛍光灯など）が当たっていたら、当たらないようにする。

上記以外で動作が正常でないときは、電源コードをはずし、乾電池を取り出し、表示窓の表示が全く消えてから、再び乾電池を入れ、電源コードをつないでください。正しく動く場合があります。それでも正しく動かないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

お手入れ

ヘッド部のクリーニング

長い間使っていると、ヘッドが汚れてきて音が悪くなったり、途切れたり、あるいは録音ができなくなったりすることがあります。よりよい音でステレオ録音、再生を楽しむために、およそ10時間使うごとに別売りのクリーニングキットKK-41を使ってクリーニングすることをおすすめします。市販の綿棒や柔らかい布にアルコールを軽く含ませて、図に示したテープが触れる面を軽く拭きます。
カセットはアルコールが完全に乾いてから入れてください。

録音/再生ヘッドの消磁

長い間使っていたり、録音/再生ヘッドに磁気を帯びたドライバーなどが触れたりすると、ヘッドが磁化され、そのまま録音や再生をするとボソボソという雑音が入ります。このようなときは、別売りのヘッドイレーサー・クリーナーHE-6Cを使って録音/再生ヘッドに消磁をしてください。

キャビネットのクリーニング

本体の表面が汚れたときは、柔らかい布でから拭きします。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤液でしめらせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではCDラジオカセットコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

主な仕様

CDプレーヤー部

型式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
チャンネル数	2チャンネル
ワウ・フラッター	測定限界以下（JEITA*）
周波数特性	20 ー 20,000Hz +1/-2dB（JEITA）

ラジオ部

受信周波数	FM/TV: 76 ー 108MHz（1〜3CH） AM: 531 ー 1,629kHz
アンテナ	FM/TV: ロッドアンテナ AM: フェライトバーアンテナ内蔵

地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

カセットデッキ部・共通部

トラック方式	4トラック2チャンネル
スピーカー	フルレンジ: 8cm、コーン型3.2Ω、2個
早巻き時間	約2分（ソニーカセットテープC-60使用）
周波数範囲	TYPEI（ノーマル）カセット 70 ー 12,500Hz（JEITA）
入力端子	MIX MICジャック（ミニジャック）1個 最小入力レベル 2.5mV ローインピーダンスマイク用
出力端子	ヘッドホン（ステレオミニジャック）1個 負荷インピーダンス 16 ー 64Ω
実用最大出力	4.5W ＋ 4.5W（JEITA/3.2Ω）
電源	本体用： 家庭用電源（AC100V 50/60Hz） 単1形乾電池8個使用（DC 12V） メモリー用： 単3形乾電池4個使用（DC 6V） リモコン用： 単3形乾電池2個使用（DC 3V）
消費電力	27W

電池持続時間

使用乾電池／測定条件	ソニーニュースーパー R20P	ソニーアルカリ LR20
テープ再生時**(JEITA)	約2時間	約4.5時間
FM録音時(JEITA)	約4.5時間	約12時間
CD再生時**(JEITA)	約2時間	約4.5時間

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。
** 音量6分目程度

最大外形寸法	約444 × 180 × 256mm（幅 × 高さ × 奥行き）（最大突起部含む）（JEITA*）
質量	本体　約5.2kg ご使用時　約6.2kg（乾電池、CD、テープ含む）
付属品	電源コード（1） リモコン（1） リモコン用単3形乾電池（2） 取扱説明書（1） ソニーご相談窓口のご案内（1） 保証書（1）

別売りアクセサリー

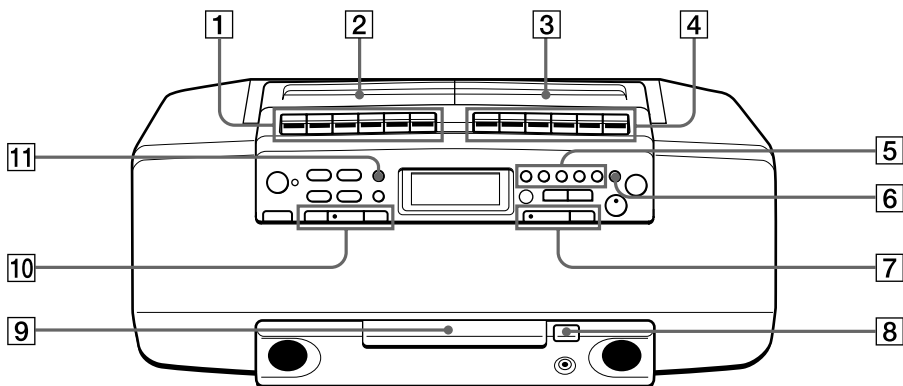
ヘッドイレーサー・クリーナー	HE-6C
クリーニングキット	KK-41

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

各部のなまえ

くわしい説明は（　）内のページをご覧ください。

本体前面：

CD/ラジオ/テープ部

本体前面：CD/ラジオ/テープ部

1 Aデッキ操作ボタン

高速ダビング (15)

►（再生）(12、13)

◄◄（巻戻し）(13)

►►（早送り）(13)

■⏏（停止/取り出し）(13)

❚❚ (一時停止) (13)

2 Aデッキカセットぶた

3 Bデッキカセットぶた

4 Bデッキ操作ボタン

●（録音）(15)

►（再生）(12、13)

◄◄（巻戻し）(13)

►►（早送り）(13)

■⏏（停止/取り出し）(13)

❚❚ (一時停止) (13)

5 サウンドモードボタン (31)

切、ロック、ポップ、ライブ、ボーカル

6 MEGA（メガ） BASS（ベース）ボタン (31)

7 CD操作ボタン

►❚❚（演奏/一時停止）(8、9)

■（停止）(9)

8 ⏏ CD開/閉ボタン (8、9)

9 CDトレイ (8)

10 ラジオ操作ボタン

バンド (10)

プリセット＋、－ (22、23)

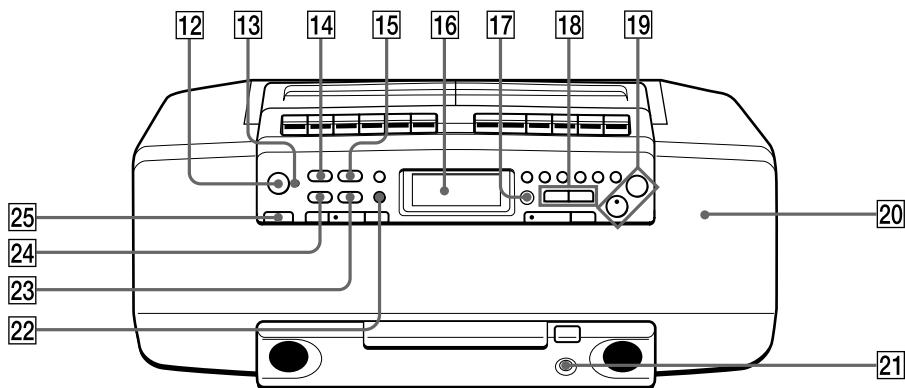
11 演奏モード•モノ/ステレオ ISSボタン

(11、15)

その他

次のページへつづく

各部のなまえ（つづき）

本体前面：
タイマー/共通部

本体前面：タイマー/共通部

12 電源ボタン (9)

13 電源/電池ランプ (30)

14 時計ボタン (25)

15 タイマーボタン (26)

16 表示窓 (16)

17 リモコン受光部

18 ⏮、⏭ 選局/時刻合せ＋、－ボタン (9、10、25、26)

19 音量＋、－ボタン

20 スピーカー

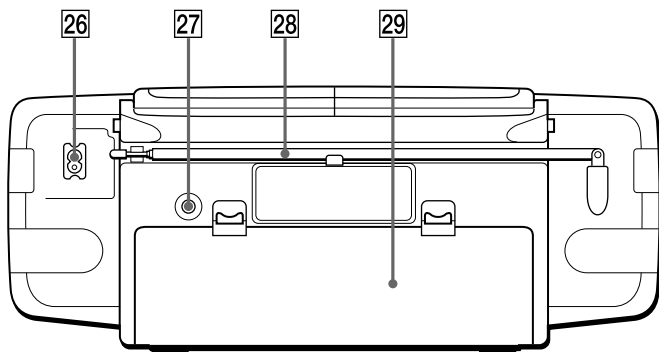
21 🎧（ヘッドホン）ジャック（ステレオミニジャック）

22 表示切換•決定 登録ボタン (16、22、25、26)

23 スリープボタン (28)

24 スタンバイボタン (27)

25 ファンクションボタン

本体後面

本体後面

26 AC IN ～ジャック (29)

27 MIX MIC（ミキシング マイク）ジャック (24)

28 FM/TV（テレビ）(1-3CH)用ロッドアンテナ (11)

29 乾電池収納部 (29、30)

その他

次のページへつづく

各部のなまえ（つづき）

リモコン

リモコン

1 スリープボタン (28)

2 CD開/閉ボタン (8、9)

3 数字ボタン (17、18、20、23)

4 モードボタン (18～20)

5 ラジオ操作ボタン

バンド (10、22)

選局+、– (10、22)

6 ファンクションボタン

ボタンを押すごとに、CD → TAPE → RADIO → CD…と切り換わります。

7 CD操作ボタン

►（演奏）(8)

❚❚（一時停止）(9)

■（停止）(9)

⏮、⏭（AMS（選曲）/サーチ）(9、17)

ループ (21)

フラッシュ (21)

8 電源 ボタン（ACのみ）(9)

9 音量＋、－ボタン (9)

10 MEGA（メガ） BASS（ベース）ボタン (31)

11 サウンドボタン (31)

索引

五十音順

ア行

カ行

サ行

タ、ナ行

ハ行

マ、ヤ行

ラ、ワ行

アルファベット順

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ　● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル*…………………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は*……… 03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX……………………………… 0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし，内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

1：修理受付
2：使用方法や故障と思われるご相談
3：お買物相談
4：その他のご相談

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

Printed in China